

平成12年9月8日

平成13年3月期業績見通し及び中間配当の見送りについて

当社の第147期(平成13年3月期)中間決算、及び年度の業績につきまして、今般その見通しを得ましたのでお知らせいたします。

当上半期のわが国経済は、企業の設備投資を中心とした民間需要に支えられ回復基調にあるものの、個人消費の回復の遅れ、公共事業の停滞などの影響により、そのテンポは非常に緩やかなものとなっております。一方、海外では、アジア経済、米国経済ともに依然好調であります。一部に減速の傾向も見受けられます。

鉄鋼事業につきましては、民間設備投資の増加等により、当上半期の国内需要が増加することが見込まれ、輸出についてもアジア向けが堅調に推移しているものの、下半期については先行き不透明な状況が予想されます。

総合エンジニアリング事業につきましては、官需、民需ともに競争激化等により、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社は「グループ中期経営計画」のスタートである当中間期において、連結財務体質改善のための諸施策を実施し、目標に向けて着実に前進しております。

その結果、当中間期の連結業績見通しにつきましては、鉄鋼事業の収益改善等により経常利益 50 億円程度、当期利益 60 億円程度となり、当初見通しを上回る見込みであります。一方、下半期につきましては、依然として先行き不透明な状況が続く中、更に諸施策を実施することにより、通期の連結業績見通しにつきましては経常利益 500 億円程度、当期利益 240 億円程度となり、年度末には連結欠損金を解消できる見込みであります。

当期の中間配当につきましては、当社業績並びに連結財務状況を考慮し、本日の取締役会において、誠に遺憾ながら、その実施を見送らせていただくことに決定いたしました。当社といたしましては、「グループ中期経営計画」最大の目標である「連結財務体質の改善」に全力をあげて取り組んでまいり所存ですので、皆様におかれましては、何とぞご理解賜りたくよろしくお願い申し上げます。

(単位：億円)

		売上高		経常利益		当期損益	
		中間期	通期	中間期	通期	中間期	通期
連結	今回見通し	7,900	17,700	50	500	60	240
	前回見通し (平成12年5月25日)	7,700	17,700	20	500	40	180
	(参考)前期実績		16,853		203		459
単独	今回見通し	4,500	10,000	140	400	10	270
	前回見通し (平成12年5月25日)	4,400	10,000	50	350	10	220
	(参考)前期実績	4,480	9,907	52	234	27	33